

2022-23



事業のあゆみ

- 1952 ● 東京RCが奨学事業の構想を立案
- 1953 ● 「米山基金」の募金開始
- 1954 ● 奨学生第1号のソムチャード氏がタイより来日
- 1957 ● 新組織「ロータリー米山奨学委員会（委員長：小林雅一氏）」を結成
- 1958 ● 新組織初の奨学生8人を採用
- 1959 ● 世話クラブ制度設置
- 1960 ● 「ロータリー米山記念奨学会」と改称
- 1967 ● 「財団法人ロータリー米山記念奨学会」設立
- 1971 ● カウンセラー制度設置
- 1972 ● 米山功労者制度の設定
- 1978 ● 特別寄付金への免税措置の認可を得る
- 1983 ● 台湾米山校友会（扶輪米山会）正式発足
- 1985 ● 国内初の米山校友会（関東）が誕生
- 1989 ● 4月採用から元ロータリー所在国からの留学生へ門戸を開く
● 韓国米山校友会正式発足
- 1999 ● 4月採用から全ての国・地域が対象となる
- 2001 ● 日本政府から留学生交流功労団体として表彰される
- 2002 ● 4月採用から指定校・大学推薦制度を全国で施行
- 2004 ● RI理事会で米山記念奨学事業が賞賛を受ける
- 2005 ● 4月採用から採用数・奨学金額を縮減
- 2006 ● 制度改編・新制度発足「現地採用奨学金」「地区奨励奨学金」
- 2007 ● 日本全地区によるロータリーの多地区合同奉仕活動としての手続が完了
- 2008 ● ホームカミング制度がスタート
- 2009 ● 中国米山校友会設立
- 2010 ● 中国・韓国の学部生に応募資格が与えられる
- 2012 ● 「公益財団法人ロータリー米山記念奨学会」となる
● タイ米山校友会設立
- 2013 ● よねやま親善大使制度スタート
● ネパール米山校友会設立
- 2014 ● モンゴル米山校友会設立
- 2016 ● ソウル国際大会にブース出展、初の分科会開催
● スリランカ米山校友会設立
● マレーシア米山校友会設立
- 2017 ● ミャンマー米山校友会設立
● 財団設立50周年
- 2018 ● 財団設立50周年記念式典



米山梅吉氏 (1868-1946)



第1号奨学生、タイの
ソムチャード氏 (1929-90)



財団設立50周年記念式典



米山基金の構想を
発表した古澤文作氏
(1881-1955)



全国組織となって初めて
採用された奨学生たち



米山奨学生校友会（関東）
創立総会



政府からの表彰状 (2001)



ソウル国際大会米山分科会

背景

- 1945 ● 第二次世界大戦終戦
- 1946 ● 米山梅吉氏逝去
- 1947 ● ポールハリス氏逝去
- 1949 ● 日本のロータリーが国際ロータリーに復帰
- 1951 ● サンフランシスコ講和条約調印
- 1954 ● 国費外国人留学生制度開始
- 1956 ● 経済白書「もはや戦後ではない」
- 1960 ● 新・日米安全保障条約調印
- 1961 ● 東京で国際大会開催
- 1964 ● 東京オリンピック
- 1970 ● 大阪万国博覧会
- 1972 ● 日中国交正常化
- 1975 ● 米山週間を4月に決定
- 1978 ● 東京で国際大会開催
- 1980 ● 米山週間を4月から10月に変更
- 1983 ● 米山週間が米山月間(10月)になる
● 「留学生受け入れ10万人計画」発表
- 1985 ● つくば万博
- 1989 ● ソウルで国際大会開催
- 1991 ● バブル経済崩壊
- 1995 ● 阪神・淡路大震災
- 2001 ● アメリカ同時多発テロ事件発生
- 2003 ● 在日留学生10万人突破
- 2004 ● 大阪で国際大会開催
- 2005 ● ロータリー100周年
● 愛・地球博(愛知万博)
- 2008 ● 「留学生30万人計画」発表
● 米金融危機
- 2010 ● 第2750地区に東京米山友愛RC創立
- 2011 ● 東日本大震災
- 2012 ● 第2750地区に東京米山ロータリーEクラブ2750創立
● バンコクで国際大会開催
- 2013 ● ロータリー世界平和フォーラム広島開催
● 第2770地区にさいたま大空RC創立
- 2016 ● 熊本地震
● ソウルで国際大会開催
- 2020 ● 新型コロナウイルス感染症の流行
● 日本のロータリー100周年

ロータリー米山記念奨学事業とは？

日本のロータリー全地区による国際奉仕事業です。日本で学ぶ外国人留学生に奨学金を支給し、支援することにより、日本と世界との平和の懸け橋になる人材を育てています。



事業の使命 将来、日本と世界とを結ぶ「懸け橋」となって国際社会で活躍し、ロータリー運動の良き理解者となる人材を育成することです。これは、ロータリーの目指す“平和と国際理解の推進”そのものです。

なぜ、外国人留学生を支援するのか？



米山基金の構想を発表した古澤文作会長

この事業は1952年、東京ロータリークラブ（RC）が発表した「米山基金」に始まります。日本のロータリーの創始者である故・米山梅吉氏の生前の功績を讃え、後世まで残るような有益な事業を行いたい——。東京RCが設立したのは、海外から優秀な学生を日本に招き勉学を支援する奨学金事業でした。その背景には、二度と戦争の悲劇を繰り返さないために、“平和日本”を世界に伝え、国際親善と世界平和に寄与したいという、戦後のロータリアンたちの強い願いがありました。

ロータリー米山記念奨学金の特長

交流を重視しています。奨学生は毎月1回以上、世話クラブの例会に出席し、会員との交流によって日本の社会を知り、ロータリーの奉仕の精神について学びます。奨学期間終了後は米山学友会に入会したり、「ロータリー学友」として国際ロータリーのコミュニティに参加することができます。



POINT 1 世話クラブ・カウンセラー制度

奨学生一人ひとりに地区内のロータリークラブが「世話クラブ」となり、世話クラブの会員が「カウンセラー」となって日常の相談役をつとめます。奨学期間中、奨学生は世話クラブで奨学金を受け取り、交流します。

POINT 2 民間最大の国際奨学事業

2022 学年度の奨学生数は898人、事業費は14億5千万円（2021-22年度決算）と、外国人留学生を対象とする民間奨学金では国内最大規模です。これまでの累計奨学生数は22,875人（2022年7月現在）、その出身国は世界129の国と地域に及びます。



米山梅吉氏(1868-1946)とは

東京・芝田村町生まれ。19歳で渡米、帰国後は三井銀行入行。遣米使節団の一員としてアメリカ滞在中、ダラスRC会員だった福島喜三次氏と出会い、1920年、日本で最初のロータリークラブ、東京RCを創立します。24年には日本初の信託会社、三井信託株式会社を設立し初代社長に就任。晩年は三井報恩会を通じて社会・文化事業を支援したり、私財を投じて小学校（現・青山学院初等部）を設立し、教育にも献身しました。“何事も人々からしてほしいと望むことは人々にもその通りせよ”これは梅吉氏の願いでもあり、生涯そのものでした。



毎年の寄付で事業を運営

2021-22年度の寄付金収入は13億4,579万円と、前の年度から微増となりました。個人平均寄付額は15,971円、特別寄付者割合は46.4%と、コロナ禍にありながらも多くのご支援をいただきました。

寄付金のほとんどは奨学金に、そのほか、奨学生・学友関係費、地区・世話クラブへの補助費、事業部門の事務局人件費などの事業費に使われています。なお、当会では財政の健全性・透明性を確保するため、公認会計士による外部監査として、毎月全伝票のチェックを受けています。

収入の部

(単位：千円)

科目	2021-22	2020-21
寄付金収入	1,345,791	1,336,837
普通寄付金	414,615	419,178
特別寄付金	931,176	917,660
配当金	124,830	124,830
利息収入	34,020	42,660
収入合計	1,504,641	1,504,327

支出の部

(単位：千円)

科目	2021-22	2020-21
事業費	1,445,099	1,447,003
奨学金	1,242,958	1,243,250
奨学生・学友関係費	35,265	31,903
地区関係補助費	48,815	51,016
世話クラブ関係補助費	39,993	38,378
広報活動・募金推進費	12,675	16,619
人件費	53,974	54,397
借室料	11,419	11,440
管理費	41,475	43,333
支出合計	1,486,574	1,490,336

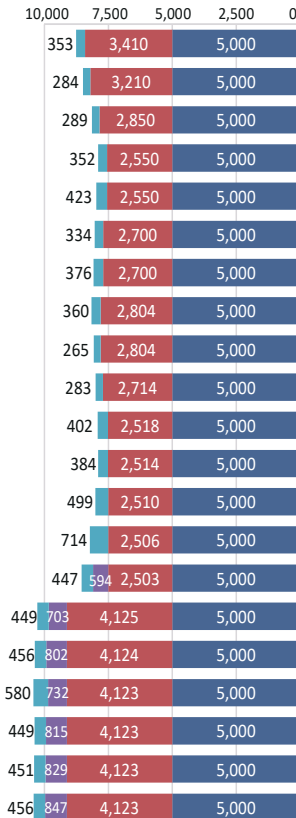
当期正味財産増減額	18,067	13,991
-----------	--------	--------

基本財産・特別積立資産の推移

(2001～21年度)

- 基本財産
- 奨学資金特別積立資産
- 奨学事業安定積立資産
- 流動資産ほか

(単位：百万円)

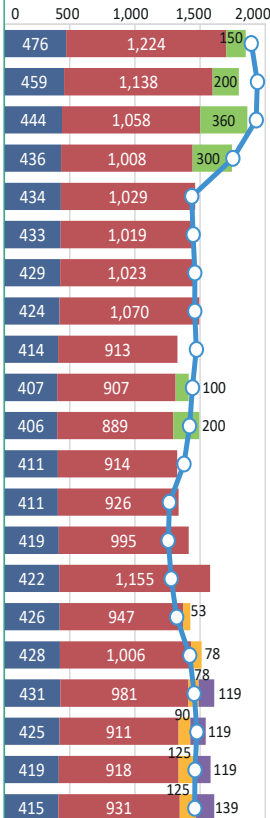


寄付金と奨学金・事業費の推移

(2001～21年度)

- 普通寄付金
- 特別寄付金
- 特別積立資産取崩
- 配当金
- 奨学事業安定積立資産取崩
- 奨学金・事業費

(単位：百万円)



奨学事業安定積立資産とは？

公益法人には、公益目的事業に係る収入が事業費を超えてはならない（収支相償）という制約があります。よって、寄付金収入の増加による黒字決算分を「奨学事業安定積立資産」（2016年6月理事会で設置承認）に積み立て、奨学事業のために計画的に使用しています。

学部・修士・博士課程ロータリー米山記念奨学金

大学・大学院生の留学生が対象の代表的なプログラム。
採用者の9割以上を占めます

月 額 学部課程：10万円 修士・博士課程：14万円

期 間 課程修了までの最長2年間

募集方法 指定校推薦制度

対 象 者

- ・指定校に在籍する正規留学生
- ・採用時に各課程の最終学年、もしくはその一つ前の学年に在籍
- ・45歳未満

地区奨励ロータリー米山記念奨学金

高専専攻科・専修学校高度専門士課程(A)、短大・高専・専修学校・外国人留学生研修機関(B)の留学生が対象

月 額 A：10万円 B：7万円

期 間 A：課程修了までの最長2年間 B：1年間

募集方法 指定校推薦制度

対 象 者

- ・指定校に在籍する留学生
(留学、文化活動、研修ビザ、または難民)
- ・40歳未満

そ の 他 Bは採用枠1人につき2人採用可

クラブ支援ロータリー米山記念奨学金

現役奨学生の期間延長プログラム。世話クラブが申請し、延長期間の奨学金の半額をクラブが負担します

月 額 学部課程：10万円 修士・博士課程：14万円

期 間 6カ月と1年の選択制

募集方法 世話クラブ推薦制度

対 象 者

10月採用：8/15応募締切
4月採用：10/15応募締切

そ の 他

- ・本制度による延長を受け付ける地区に限る
- ・地区奨励、海外学友会推薦奨学生は対象外

海外応募者対象ロータリー米山記念奨学金

日本での留学校が決まっている外国人が、来日前に海外から個人応募できる予約型のプログラム

月 額 学部課程：10万円 修士・博士課程：14万円

期 間 原則2年間

募集方法 公募制

対 象 者 申請時に日本以外の国に居住し、日本の大学・大学院に学位取得を目的として入学する者

そ の 他

- ・初年度のみ片道渡航費の実費を補助する
- ・各地区1人は割当数以外で採用可

海外学友会推薦ロータリー米山記念奨学金

海外学友会が募集・選考して日本へ送り出すプログラム。
上級研究者が対象です

月 額 14万円 ※往復渡航費、宿舍手当の補助等あり

期 間 1年間

募集方法 台湾・韓国の各学友会選考委員会による募集・選考

対 象 者 現在は台湾・韓国のみ実施。博士号を取得し、日本留学を希望する上級研究者を対象とする

そ の 他 台湾から2人、韓国から1人枠

Q 危機管理への対策は？

米山奨学生に関わるハラスメントや事故が発生した場合、地区の危機管理委員会で速やかに対応いただきます。米山奨学会事務局では2008年より奨学生のための専用ハラスメント相談窓口(電話/eメール)を設置しているほか、07年から法人として、当会評議員・理事・監事および職員、ガバナー、クラブ会長、地区米山奨学委員長を被保険者とする賠償責任保険にも加入しています。さらに20年4月からは現役奨学生を被保険者とし、例会出席における傷病へ対応できる傷害保険に加入しています。

地区の奨学生割当数（2023 学年度）

- ・ 割当数以外の採用もあるため、地区奨学生数とは異なります
- ・ 2023 学年度は、地区に割り当てる853 人のほか、海外学友会推薦奨学生3 人、海外応募者対象奨学生24 人を加えた880 人枠が全体採用数です

地区	都道府県・市	2023	2022	前年度比
2500	北海道東部	9	9	0
2510	北海道西部	17	17	0
2520	岩手県・宮城県	12	11	1
2530	福島県	21	17	4
2540	秋田県	10	10	0
2550	栃木県	23	25	-2
2560	新潟県	23	25	-2
2570	埼玉県西北	19	16	3
2580	東京都・沖縄県	44	38	6
2590	神奈川県（横浜市・川崎市）	37	37	0
2600	長野県	16	18	-2
2610	石川県・富山県	19	21	-2
2620	静岡県・山梨県	25	26	-1
2630	岐阜県・三重県	17	21	-4
2640	大阪南部・和歌山県	21	20	1
2650	福井県・京都府・奈良県・滋賀県	51	52	-1
2660	大阪北部	49	52	-3
2670	愛媛県・香川県・高知県・徳島県	22	20	2
2680	兵庫県	23	24	-1
2690	岡山県・島根県・鳥取県	24	23	1
2700	福岡県・長崎県・佐賀県	27	25	2
2710	広島県・山口県	23	23	0
2720	熊本県・大分県	17	18	-1
2730	鹿児島県・宮崎県	14	14	0
2740	長崎県・佐賀県	16	14	2
2750	東京都（北マリアナ諸島他）	45	46	-1
2760	愛知県	51	51	0
2770	埼玉県南東	36	38	-2
2780	神奈川県（横浜市・川崎市以外）	29	31	-2
2790	千葉県	29	26	3
2800	山形県	13	14	-1
2820	茨城県	31	29	2
2830	青森県	12	10	2
2840	群馬県	28	26	2
計		853	847	6

年間カレンダー：奨学生が決まるまで

6 月

奨学会で地区割当数を決める

① 寄付金収入予測に基づき全体採用数を決定（2023学年度：880人枠）

② A～D各要素の対全国比と、配当金分を案分し加えた数を地区割当数とします（p9参照）

- ・ 2023学年度の地区割当数算出に使用するのは2020-21年度寄付実績です

880人

805人

A

B

C

D

別枠

寄付金総額

個人平均寄付額

特別寄付者割合

有資格者数

配当金

50% (403人)

30% (242人)

10% (80人)

10% (80人)

48人

27人

7 月

地区で指定校と被推薦者数を決める

- ・ 地区米山選考委員会が指定校を毎年選定します
- ・ 同委員会では、学校説明会を開くなど要望を伝え、奨学生にふさわしい留学生を推薦してもらうよう努めています

8 月

募集スタート

奨学会から指定校へ通知するほか、ホームページで指定校・募集要項を発表します

8 ～ 10 月

指定校での学内選考と申込み

奨学会で申込みを受け付け書類をチェック
応募締切：10月15日

11 ～ 1 月

書類選考・面接試験

地区ごとに面接官オリエンテーションを実施し、全国共通の基準にしたがって面接選考します



12 ～ 3 月

合否発表

地区の報告順に学校専用画面で「合格内定」「不合格」を発表。当理事会承認後、3月下旬に合格通知を学校経由で送付します

4 月

オリエンテーション

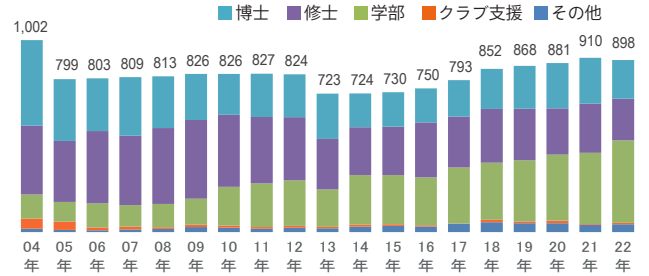
世話クラブ・カウンセラーとの初顔合わせ。確約書にサインし正式に米山奨学生となります

国・地域別奨学生数(2022年 7月現在) *累計数順

アシア州 北・南アメリカ州 ヨーロッパ州・NIS諸国 アフリカ州 大洋州

順位	国・地域	奨学生	累計	順位	国・地域	奨学生	累計	順位	国・地域	奨学生	累計
1	中国	375	7,978	45	セネガル	1	13	88	イラク	0	2
2	韓国	90	4,712	46	ルーマニア	1	12	88	ガボン	0	2
3	台湾	38	3,578	46	コートジボワール	0	12	88	ガンビア	0	2
4	ベトナム	140	1,328	46	タンザニア	0	12	88	マリ	0	2
5	マレーシア	55	1,066	46	ウクライナ	0	12	88	モザンビーク	0	2
6	インドネシア	31	501	50	ニュージーランド	0	11	88	リビア	0	2
7	タイ	15	371	51	イスラエル	0	10	88	リベリア	0	2
8	ハンガリー	9	361	52	エチオピア	1	9	88	南アフリカ	0	2
9	モンゴル	30	343	52	チュニジア	1	9	88	アゼルバイジャン	0	2
10	ネパール	28	338	52	ポーランド	1	9	88	クロアチア	0	2
11	スリランカ	11	302	52	フィジー	0	9	88	ジョージア	0	2
12	ミャンマー	12	239	56	コロンビア	1	8	88	スロバキア	0	2
13	インド	7	139	56	コンゴ民主共和国	0	8	88	セルビア	0	2
14	米国	2	121	56	スイス	0	8	88	タジキスタン	0	2
15	フィリピン	0	95	59	モロッコ	0	7	88	デンマーク	0	2
16	ブラジル	1	91	59	ベネズエラ	0	7	88	ノルウェー	0	2
17	カンボジア	4	88	61	ザンビア	1	6	88	ベラルーシ	0	2
18	イラン	2	70	61	ベナン	0	6	88	ボツワナ共和国	0	2
19	ラオス	0	67	61	マダガスカル	0	6	88	ニューギニア共和国	0	2
20	ロシア	2	62	61	チリ	0	6	88	ソロモン諸島	0	2
21	エジプト	3	53	61	ボリビア	0	6	88	エクアドル	0	2
22	トルコ	2	53	66	フィンランド	2	5	88	エルサルバドル	0	2
23	フランス	2	44	66	シリア	1	5	88	クアチマラ	0	2
23	ドイツ	0	44	66	オランダ	1	5	88	ドミニカ共和国	0	2
25	メキシコ	1	42	66	オーストリア	0	5	88	パラグアイ	0	2
26	英国	3	39	66	ベルギー	0	5	88	ホンジュラス	0	2
27	ケニア	1	38	66	トンガ	0	5	115	クウェート	0	1
28	パキスタン	1	34	72	パレスチナ	2	4	115	ギニアビサウ	0	1
28	イタリア	1	34	72	スーダン	0	4	115	コンゴ共和国	0	1
30	シンガポール	0	32	72	アルバニア	0	4	115	セーシェル	0	1
31	ウズベキスタン	4	28	72	ブルガリア	0	4	115	トーゴ	0	1
32	ペルー	0	26	72	ラトビア	0	4	115	中央アフリカ	0	1
33	カナダ	1	25	72	リトアニア	0	4	115	アイルランド	0	1
34	ナイジェリア	2	23	78	サウジアラビア	2	3	115	アルメニア	0	1
35	スペイン	1	20	78	ルワンダ	1	3	115	エストニア	0	1
36	アフガニスタン	1	18	78	ハンガリー	1	3	115	ツバレ	0	1
36	ガーナ	0	18	78	ヨルダン	0	3	115	ニューカレドニア	0	1
36	オーストラリア	0	18	78	エリトリア	0	3	115	ミクロネシア	0	1
39	スウェーデン	2	17	78	シエラレオネ	0	3	115	キューバ	0	1
39	アルゼンチン	0	17	78	キルギス	0	3	115	ハイチ	0	1
41	カザフスタン	3	15	78	チェコ	0	3	115	パナマ	0	1
41	カメルーン	1	15	78	トルクメニスタン	0	3		無国籍	0	4
41	ウガンダ	0	15	78	コスタリカ	0	3				
44	バハニューギニア	0	14	88	イエメン	0	2				
						計		129の国と地域		898	22,875

米山奨学生数の推移(2004-22 学年度)



米山学友を中心に発足したクラブ

クラブ名	地区	加盟承認	例会開催日
台北東海 R C	3482	1995.01.31	木12:00 *例会は日本語で実施
台中文心 R C	3461	2007.03.16	水(登録18:30~) *例会は中国語、日本語対応可
東京米山友愛 R C	2750	2010.03.16	水19:30(第1・3・5) 土10:30(第2・4)
東京米山ロータリー Eクラブ2750	2750	2012.06.21	日20:00 (ウェブ上で実施)
さいたま大空 R C	2770	2013.11.25	土18:30 *財団学友と米山学友により設立
茨城ロータリー Eクラブ	2820	2019.05.27	第1・第3土19:00 (ウェブ上で実施)
和光21幸魂 ロータリー衛星クラブ	2570	2020.12.21	第2・第4 土13:30
東京麹町スター ロータリー衛星クラブ	2580	2022.04.26	第2火・第4水20:00 (ウェブ上で実施)

ロータリアンになった米山学友

 **272人** (事務局把握分)
<出身国・地域別 TOP3>
台湾:85人 韓国:71人 中国:59人

☆ガバナーになった米山学友

	林 隆義氏 (1977-78/京都西南RC)	ガバナー年度 1997-98	3650地区(韓国)
	許 國文氏 (1975-77/徳島RC)	ガバナー年度 2005-06	3490地区(台湾)
	林 華明氏 (1984-86/東京世田谷RC)	ガバナー年度 2015-16	3520地区(台湾)

米山学友からの寄付金（累計）



45,055,181円

(2022年6月末現在)

左記とは別に、東日本大震災義援金約760万円、熱海土砂災害義援金約150万円等が寄せられ、当会経由で被災地区へ送金しました。

Thank you

アメリカ在住の米山学友、周順圭さん(中国出身/1962-64:東京西RC、1964-65 & 66-68:東京世田谷RC)が2022年7月、個人として50万ドルの寄付を送金してくださいました。



博士号取得者数



3,960人 / 22,875人

(申請ベース。奨学期間以外の取得を含む)

出身国
地域別

1	中国	1,490人
2	韓国	1,343人
3	台湾	640人
4	バングラデシュ	91人
5	ベトナム	44人



博士号を取得した奨学生・学友には、名前入りの腕時計を差し上げています(要申請)

在日外国人留学生関連 DATA

2021年5月1日現在の留学生数は242,444人。うち、当会奨学金の主な対象となる高等教育機関在籍者は201,877人。新型コロナウイルスの影響により来日留学生は2年連続で大幅に減少。

年	留学生総数	国費・政府派遣・私費留学生内訳			在籍機関内訳	
		国費留学生数	外国政府派遣留学生数	私費留学生数	高等教育機関	日本語教育機関
2015年	208,379人	9,223人	3,737人	195,419人	152,062人	56,317人
2016年	239,287人	9,481人	3,682人	226,124人	171,122人	68,165人
2017年	267,042人	9,166人	3,760人	254,116人	188,384人	78,658人
2018年	298,980人	9,423人	3,733人	285,824人	208,901人	90,079人
2019年	312,214人	9,220人	3,541人	299,453人	228,403人	83,811人
2020年	279,597人	8,761人	3,206人	267,630人	218,783人	60,814人
2021年	242,444人	8,197人	3,170人	231,077人	201,877人	40,567人

高等教育機関における国・地域別留学生は中国が46.6%を占め、ベトナム、ネパールの順に多い。

1 中国 94,063人 (46.6%) 2 ベトナム 38,592人 (19.1%) 3 ネパール 16,500人 (8.2%)

「2021(令和3)年度外国人留学生在籍状況調査結果」(日本学生支援機構)より

学友のスピーチで感動を共有

第4代

よねやま親善大使のご紹介

よねやま親善大使は、日本全国の地区を訪問し、スピーチと交流によって米山記念奨学事業の理解を深めるPR活動をしています。地区の行事やIMなどのスピーカーにぜひお呼びください!

李 昱昊 (2016-17/東京銀座RC)



中国出身。中国の弁護士と日本の行政書士の資格を持つ。2019-20年度東京西RAC会長。2021年度より第2750地区東京バリアフリーマインドRC入会。



カメラでQRコードを読み取ってね



李大使はこんな人♪

アドゥアヨム アヘゴ、アクエテビ (2014-15/新発田城南RC)



トーゴ出身。アフリカで不足する義肢装具の開発研究に尽力。日本の中古部品を活用した義肢をアフリカに提供する活動も。



アヘゴ大使はこんな人♪

ウォータース・カレン・ジュリア (1992-94/京都南RC)



オーストラリア出身。株式会社Global Waters代表取締役社長。Burleigh Heads RC(第9640地区)会員。2019-22年度第2650地区米山学友会会長。



カレン大使はこんな人♪

ホームカミング制度で学友を招待することもできます!

活躍する元米山奨学生(学友)を招待し、現在の活躍をスピーチしてもらうことで、地区内の米山記念奨学事業に対する理解を深めていただく制度です。

- ・国内外で活躍する学友を、1地区につき年間2人まで
- ・1人につき上限25万円の実費補助あり



制度の詳細や申請書ダウンロードはこちら



活躍する米山学友

未来のウクライナのために

テチアナ・セゾネンコ さん
(ウクライナ出身 2017-19/大阪城南RC)

大阪大学大学院理学研究科で高分子化学を研究し博士号を取得。帰国後は製剤化学者として農作物を守る薬剤を開発。戦争勃発後も国内にとどまり、国内外からの支援により食料や薬、子どものおむつなどの調達に奔走。現在はウクライナ教育財団で子どもたちを助けるためのボランティア活動をしている。



シリコンバレーのエンジェル投資家

周 順 圭 さん
(中国出身 1962-64/東京西RC、1964-65 & 66-68/東京世田谷RC)

東京大学で工学博士を取得後渡米。半導体研究の専門家。1984年に半導体企業のバックエンドサービス事業を行うEICO Inc.を創設。現在は幅広い分野のハイテク企業をスタートアップ段階からサポートするエンジェル投資家として活躍。教育機関への寄付も熱心に行っている。



ダリット女性の地位向上を目指して

サビナ・ビスンケラムテル さん
(ネパール出身 2018-19/加古川中央RC)

カースト制度に属さない最下層のダリット（不可触民）出身。日本で学んだ経験やコロナ禍で村人に食糧を配るなどの活躍が評価され、ネパール最大政党から出馬要請。2022年5月のネパール統一地方選挙で当選を果たし、市議会議員としてダリット女性のさらなる地位向上を目指す。



これまでに巣立った2万人以上の元米山奨学生は、世界各地で活躍しています

日・モンゴル交流の懸け橋

デルゲルマー・アルザフグイさん
(モンゴル出身 2001-02/川崎麻生RC)

モンゴル赤十字社、在大阪モンゴル国総領事館副領事、駐日モンゴル国大使館二等書記官（経済・商務担当）を経て2019年に帰国。モンゴル外務省アジア太平洋局の日本担当書記官に就任し22年6月より次長となる。日本との外交や国際協力に尽力し、政府要人会談では通訳も務めている。



米山への感謝がらロータリアンに

林志昇 さん
(台湾出身 1992-94/津RC)

三重大で建築学を学び帰国。2002年に“米山”を冠した設計会社、米山国際設計を設立。2002年に台北南峰RCへ入会、解散に伴い05年に台北南区RC（第3523地区）会員となり、04年度と17年度会長を務める。これまでの出席率は100%。日台ロータリー親善会議創立メンバー。22年より台湾米山学友会理事長に就任。



日本との絆で母国の地雷を除去

**チョンセンチャン
カムニーサイ さん**
(ラオス出身 2017-19/宇都宮東RC)

日本地雷処理を支援する会（JMAS）のラオス代表事務所に勤務。今なお同国に大量に存在する地雷や不発弾除去のため、地域住民への注意喚起を担う指導員の育成や、不発弾処理に関する資料作成、翻訳や通訳、関係機関との調整などを行う。



学友会について

期間終了後は必ず学友会に！

米山学友会は、学友(元奨学生)を中心とする同窓会組織です。日本に33(34ロータリー地区)、海外に9(台湾・韓国・中国・タイ・ネパール・モンゴル・スリランカ・マレーシア・ミャンマー)、計42の学友会があります。

- ✓ 奨学期間終了後も、転居・就職・転職などの都度、米山奨学会のHPから情報更新するよう、学友に奨励してください
- ✓ 登録住所により、該当する学友会から学友へ案内が届きますが、いずれの学友会にもイベント参加、所属することが可能です
- ✓ 米山奨学会から学友会へ補助費を支給しています。国内には活動補助費と会報補助費、海外には上限20万円(年)で、いずれも書類の提出が必要です

海外

国内

台湾学友会 北海道学友会 (2500/2510)

正式名称: (社) 中華民国扶輪山会

韓国学友会

中国学友会(上海・華北)

タイ学友会

ネパール学友会

モンゴル学友会

スリランカ学友会

マレーシア学友会

ミャンマー学友会 *休山中

九州学友会 (2700)

2740 学友会 (長崎・佐賀)

2720 学友会 (熊本・大分)

2730 学友会 (鹿児島・宮崎)

2690学友会 (岡山・島根・鳥取)

2710 学友会 (広島・山口)

2670学友会 (愛媛・香川・徳島・高知)

関西学友会 (大阪北部(2660))

2640学友会 (大阪南部と歌山)

2680 学友会 (兵庫)

2650 学友会 (福井・滋賀・京都・奈良)

2610 学友会 (富山・石川)

2630 学友会 (岐阜・三重)

2600 学友会 (長野)

2620 学友会 (静岡・山梨)

2760学友会 (愛知)

2780学友会 (横浜・川崎を除く神奈川)

2590学友会 (神奈川(横浜・川崎))

2830学友会 (青森)

2540 学友会 (秋田)

2520 学友会 (岩手・宮城)

2800 学友会 (山形)

2560 学友会 (新潟)

2840 学友会 (群馬)

2550 学友会 (栃木)

2820 学友会 (茨城)

2530学友会 (福島)

2790 学友会 (千葉)

東京学友会 (2580)

2750学友会 (東京)

2770学友会 (埼玉南東)

2570学友会 (埼玉西北)

学友会の活動紹介【海外編】

台灣

09 年に「日本人若手研究者奨学金」を設立、これまでに累計47人の日本人留学生を支援しています。また毎年、海外学生会推薦ロータリー米山奨学生を選抜、優秀な研究者を日本へ送り出しています。安倍元首相急逝の際は、多くの学友が弔問記帳をしました。



スリランカ

毎月Zoom ミーティングで活動のアイデアを出し合っています。第2530 地区からの支援でコロナ禍に喘ぐ地域の病院へ医療機器を寄贈しました。



韩国

2016年から毎年、韓国へ留学中の日本人へ奨学支援しています(22年度7人、累計27人)。そのほか、帰国学友の歓迎会を行っています。



マレーシア

海岸ゴミを集めるだけでなく、大学研究機関の協力を得て分析し、政府の環境保護政策へ生かしてもらおうと試みています。



タイ

出雲中央RCによる地区世界社会奉仕プロジェクトに全面協力し、高濃度酸素機器やストレッチャーをタイの病院へ寄贈。



学友会の活動紹介【国内編】

第 2800 地区

山形

学友会総会のあとは家族も一緒に東根名物のさくらんぼ狩り



第 2840 地区

群馬

尾瀬ハイキングで学友、奨学生、カウンセラーが交流



第 2770 地区

埼玉

クリーンウォーキングを複数回実施し街をきれいに!



第 2620 地区

静岡・山梨

国の名勝に指定されている三保の松原で海岸清掃活動



第 2580・2590 地区

東京

神奈川



4学友会(2580・2590・2750・2780)の会長を中心とする有志学友で、総持寺にある梅吉翁のお墓参り

第 2650 地区

福井・京都・奈良・滋賀

地区による祇園祭体験会と連携し、新奨学生の歓迎会を開催



第 2660 地区

大阪

池田くればRC主催の「レクイエム音楽祭」にチーム米山が登場



寄付の種類

米山奨学会への寄付は2種類です。この事業は皆さまからの毎年の寄付で運営されています。また、地区の奨学生数はほぼ寄付額で決まりますので、継続的なご支援をお願いいたします。

安定財源として、各クラブが決定した金額を会員数分、毎年全クラブから納入いただいています。

普通寄付金

全国平均 **4,920 円**

個人・法人・クラブからの任意寄付。金額に決まりはなく、ロータリー以外の方からもお受けします。

特別寄付金

全国平均 **11,051 円**

寄付をするには

寄付金送金明細
ダウンロードや
手順はこちら→



- ☒ 所属クラブがとりまとめて下記口座へ送金後、寄付金送金明細をお送りください
- ☒ クラブを経由せず、直接当会へ送金も可能です。事前に事務局(p30)までご連絡ください
- ☒ クレジットカードはお取り扱いしておりません

三井住友銀行 京橋支店

普通預金 0920373

口座名義：公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

Q なぜ普通寄付金が必要なのですか？

当事業は、毎年いただく寄付金だけで成り立っています。特別寄付金は任意寄付なので、年間約900人へのほる奨学金の安定財源として普通寄付金が必要です。また、1967年に財団法人の認可を申請した際、普通寄付金による一定収入が見込めると文部省(当時)を説得し、国内全クラブから普通寄付の確約をもらうことを条件に設立許可を得た経緯があるためです。

寄付について

寄付の種類

寄付に対する表彰制度

米山へのご寄付は個人・法人・クラブそれぞれに累積し、一定金額に達した時点で表彰させていただきます。「達成クラブ」以外は、すべて特別寄付金が対象です。*2007年7月改定

個人寄付への表彰（対象：特別寄付金）

累計額	表彰名	表彰品
3万円	準米山功労者	なし
10万円	第1回米山功労者	感謝状【青色】
20万～50万円	(以降10万円毎に) 第2回～9回 米山功労者マルチプル	感謝状【銅色】
60万～90万円		感謝状【銀色】
100万～390万円	第10回～ 米山功労者メジャードナー	感謝状【金色】 +100万円毎に ピンバッジ
400万円～		感謝状【金色】 +100万円毎に クリスタル盾



* 累計100万円未満は10万円ごとに感謝状を、100万円以降は10万円ごとの感謝状に加え、100万円ごとにピンバッジ(400万円以上はクリスタルの盾)が贈られます

法人寄付への表彰（対象：特別寄付金）

累計額	表彰名	表彰品
5万円	準米山功労法人	なし
50万円	米山功労法人	感謝状
100万円～	(以降100万円毎に) 米山特別功労法人	感謝状と盾



クラブへの表彰

累計額	表彰名	表彰品
100万円毎	米山功労クラブ	感謝状
1000万円毎	達成クラブ	感謝状
-	クラブ創立記念特別寄付	盾(10万円以上の場合)

* 「米山功労クラブ」はクラブ扱い・個人・法人すべての特別寄付金が対象

* 「達成クラブ」は普通寄付金・特別寄付金の合計金額が対象

☑ 表彰品が不要な場合は、クラブ事務局へお申し出ください

米山記念奨学会への 寄付は、寄付金控除 の対象です！



ロータリー米山記念奨学会は内閣府より「公益財団法人」の認定を受けているため、当会への寄付は①所得税、②法人税の税制優遇が受けられます。③相続税も非課税となります。

☑ 「税額控除」も選ぶことができます

従来の「所得控除」に加えて「税額控除」のいずれか有利な方式を選択いただくことができます。

☑ 普通寄付金分も申告用領収証を発行します クラブからの申請が必要です。

1 個人として寄付をした場合（AorB）

「所得控除」と「税額控除」のいずれかを選択し、確定申告によって、納める所得税が減少します。東京都にお住まいの方は、個人都民税の寄付金控除も受けることができます。

A 所得控除なら・・・

$$\left\{ \text{課税所得} - \frac{\text{寄付金額} - 2\text{千円}}{\text{所得の40\%を限度}} \right\} \times \text{税率} = \text{納める所得税}$$

B 税額控除なら・・・

$$\text{所得税額} - \left[\frac{\text{控除額 (所得税額の25\%を限度)}}{\text{所得の40\%を限度}} \right] \times 40\% = \text{納める所得税}$$

どのくらい減税できますか？ 最大で寄付金額の約4割、所得税が減少します！

年間の課税所得額750万円の方が計10万円を寄付した場合

A 所得控除：98,000円 × 23%^{*1} = 22,540円

B 税額控除：98,000円 × 40% = 39,200円

※1 所得税率は、課税所得額によって5%～45%の7段階に区分されています。詳しくは国税庁のホームページをご確認ください

* 寄付金控除を受けるためには確定申告が必要です

* 他の控除等により変動します。計算例は参考にとどめてください

2 法人として寄付をした場合

一般の寄付金の損金算入限度額とは別枠で損金算入することができます。これにより、法人税額が軽減されます。限度額は、その法人の資本や所得の金額によって異なります。詳しくは各法人の経理担当部門に確認するか、国税庁の「特定公益増進法人に対する寄附金」のページをご覧ください。

3 遺言による寄付をする場合

生前に遺言書を作り、所定の手続きで当会へ遺産を寄付するご意思を示された場合、遺贈した財産は相続財産から控除され、相続税額が軽減されます。また、相続人が相続によって取得した財産を10カ月以内に寄付した場合も、寄付した財産に相続税が課税されません。

次世代の留学生支援・人材育成のため、遺産計画の際には、米山記念奨学会へのご寄付も検討いただければ幸いです。

申告用領収証の発送はいつ？

1年間(1~12月)に特別寄付をした方へ、翌年1月末日まで(確定申告に間に合うよう)に、申告用領収証と税額控除に係る証明書(写)をロータリークラブを通じてお届けします。法人の場合は、ご寄付いただいた都度、申告用の書類をお送りしています。

「紺綬褒章」の公益団体に認定

当会は2018年、内閣府賞勲局より「紺綬褒章」の公益団体認定を受けました。これにより、同年9月12日以降、個人では500万円以上、団体、企業等は1,000万円以上をご寄付をいただき、定められた条件を満たす場合に、紺綬褒章の授与申請をいたします。あらかじめお申し出いただいた場合、分納によるご寄付も可能です。詳しくは当会事務局まで。



画像は内閣府 HP より

地区別寄付実績【2021-22 年度】

2021-22年度の平均寄付額は一人あたり15,971円、最も多い地区は第2590地区で28,471円でした。また、特別寄付者割合^注の全国平均は46.4%でした。

注:寄付者割合は「特別寄付(個人)をした会員数」を「地区会員数(2022年1月1日現在)」で割った数値です

地区	特別寄付		個人平均寄付額 (円)
	法人	個人(%)	
2590 神奈川県 (横浜市・川崎市)	87	81.5	28,471
2660 大阪北部	82	72.8	27,140
2770 埼玉県南東	19	70.9	26,002
2650 福井県・京都府・奈良県・滋賀県	202	82.6	23,401
2820 茨城県	90	70.2	22,388
2780 神奈川県 (横浜市・川崎市以外)	19	69.3	20,965
2580 東京都・沖縄県	17	27.4	20,802
2750 東京都 (北マリアナ諸島他)	77	41.3	20,223
2840 群馬県	55	85.9	18,522
2790 千葉県	60	42.0	18,069
2550 栃木県	15	71.2	17,783
2560 新潟県	136	64.2	17,232
2640 大阪南部・和歌山県	6	58.6	16,383
2700 福岡県・長崎県・佐賀県	6	33.6	15,342
2620 静岡県・山梨県	140	69.3	15,193
2760 愛知県	230	33.2	15,126
2680 兵庫県	22	45.7	14,731
2610 石川県・富山県	28	28.0	14,435
2600 長野県	10	24.0	13,965
2690 岡山県・鳥根県・鳥取県	21	38.9	13,595
2670 愛媛県・香川県・高知県・徳島県	8	30.4	12,920
2710 広島県・山口県	16	38.7	12,597
2530 福島県	0	47.1	12,527
2570 埼玉県西北	3	33.7	12,066
2740 長崎県・佐賀県	3	16.2	11,820
2510 北海道西部	60	41.6	10,756
2800 山形県	28	34.5	10,390
2720 熊本県・大分県	5	38.2	10,013
2630 岐阜県・三重県	24	40.2	9,783
2730 鹿児島県・宮崎県	3	28.5	9,508
2540 秋田県	3	28.0	9,089
2830 青森県	1	43.1	8,512
2520 岩手県・宮城県	4	17.5	7,925
2500 北海道東部	10	19.2	7,249
2021-22年度全国平均 *法人寄付のみ実数	1,490	46.4	15,971

全国平均の推移		
2010:	14,600円	
2011:	14,624円	
2012:	15,046円	
2013:	15,200円	
2014:	15,996円	
2015:	17,779円	
2016:	15,435円	
2017:	16,068円	
2018:	15,828円	
2019:	15,055円	
2020:	15,516円	

よくあるご質問

Q 申告用領収証を紛失しました

当会へご連絡いただければ再発行します。その際、領収証に「再発行」と記されます。

Q 退会した会員の寄付実績を、他会員に引き継ぐことはできますか？

配偶者や子どもなどご家族に限り、寄付実績の譲渡が可能です。引継ぎを希望する場合は、ご寄付の際の送金明細に記載しご連絡ください。

Q 会員ごとの寄付実績を知りたいのですが

個人の寄付額はホームページに掲載していません。eメールか FAXでお送りしますので、寄付担当者までご連絡ください。eメール: kifu@rotary-yoneyama.or.jp

Q 普通寄付も控除の対象になりますか？

クラブ事務局からの申請により、普通寄付金分の申告用領収証を発行することができます。締切は毎年 11 月末日です。申請には、会員氏名を入力したデータと、当会ホームページからのアップロードが必要です。

ご注意ください！

- クラブの会費から普通・特別寄付金を拠出している場合、
- ①「個人事業主」様は、個人の事業所得計算上、クラブ会費が「必要経費」にならないため、確定申告時に寄付金控除ができません
 - ②「法人事業者」様は、法人所得の計算上、クラブ会費が「交際費」としてすでに損金算入されているため、寄付金の領収証を確定申告に使用することはできません

Q 寄付の締め切りはいつですか？

個人の確定申告用領収証は毎年12月末日、ロータリー年度は6月末日までの入金を区切りとしています。

Q コロナ禍における奨学生への対応はどうすればよいですか？

奨学生には月1回以上の例会出席が義務づけられていますが、例会の休会、本人の体調不良や濃厚接触者となった場合は、翌週以降に振り替えてください。なお、このような場合は奨学金の送金を認めています。

奨学金の支給は従来、例会での手渡しを原則としていましたが、金銭を持ち歩くリスクを鑑み、2023年4月から正式に銀行振込も可とします。



Q 奨学期間が終わったら連絡がありません

学友の中には、仕事や研究で成果をあげてからでなければ、連絡をしづらいと考える人がいます。また、国情によって通信状況が安定せず、日本にいた時のように連絡が取れない場合もあります。世話クラブ側も定期的に週報を送ったり、周年行事に招待するなど、交流を続ける働きかけをお願いします。

Q なぜ中国人奨学生が多いのですか？

現在、日本の高等教育機関で学ぶ外国人留学生の46.6%が中国人であることが影響しています。ただし、各地区選考委員会は指定校に対して「推薦者は1カ国に偏らないように」などの要望を出し、選考過程において国籍バランスや中国国内の出身地域が多様になるよう配慮しています。

Q 経済的に貧しい日本人は対象になりませんか？

当財団は1967年の設立趣意書に基づき、一貫して外国人留学生を対象としています。グローバル補助金・地区補助金で日本人学生の支援が可能です。また、国の政策として、「高等教育の無償化に向けた大学等修学支援法」により、低所得者層の学生は学費減免と給付型奨学金（返済不要）を受給できます。このほか、被災・家計急変時の支援制度（給付／貸与型奨学金）、JASSO 災害支援金、大学独自の奨学金などがあります。

Q 世話クラブへの補助金がありますか？

あります。奨学生1人につき年間4万5千円を毎年7月に世話クラブへ送金します。奨学生分の『ロータリーの友』購読費、クラブや地区の行事参加費など、奨学生のために支出した費用にお使いください。特に、カウンセラー個人の経済的負担が大きくなりませんようご配慮ください。

Q 他のロータリー学友との違いは？

ローターアクトやインターアクト、ライラをはじめとする多くの「ロータリー学友」がいます。下記はそこから、留学支援に関わるものについて解説します。

ロータリー平和フェロー【ロータリー財団】

平和と開発の分野でキャリアをめざす人のための全額支給奨学金。ロータリー平和センター提携大学で学ぶ最高130人が、毎年世界中から選ばれます。修士号取得プログラム（15～24カ月）と専門能力開発修了証プログラム（オンラインを含む1年間）があります。

ロータリー奨学生【ロータリー財団】

グローバル補助金による奨学金は、重点分野のいずれかに関連する研究のため、大学院または同等の研究機関における1～4年間の留学を支援します。日本からは年間約40～50人を送り出しています。また、地区補助金による奨学金を提供する地区もあります。

ロータリー青少年交換学生【国際ロータリー】

15～19歳の学生を対象（年齢設定は地区決定）とする交換留学プログラムです。世界で約8,200人が参加。長期交換（1年間）は複数のホストファミリー宅に滞在しながら、現地の学校に通います。短期交換（数日～数カ月間）は、学校の長期休み中に行われます。

ロータリー米山記念奨学生【ロータリー米山記念奨学会】

日本のロータリー独自の多地区合同活動として、在日外国人留学生を対象とし奨学金を支給しています。奨学生数は年間約900人、日本のロータリアンとの心の交流によって、将来、日本と世界とを結ぶ懸け橋となる人材を育てます。

Q 米山梅吉記念館やロータリー財団との違いは？

それぞれ別法人であり、財団設立の目的や歴史、運営が異なります。

公益財団法人米山梅吉記念館

米山梅吉氏の遺徳を偲び、その偉業を顕彰することを目的として昭和44年に開館。館内は梅吉氏の生涯と日本のロータリーの歩みが展示されているほか、ロータリーの文献資料を備えている。10-16時、月曜休館。

【事業内容】

米山梅吉記念館の運営／ロータリーの文献を蒐集、整理、保管／研修室の運営

米山梅吉記念館

〒411-0941 静岡県駿東郡長泉町上土狩346-1

電話：055-986-2946 FAX：055-989-5101

国際ロータリーのロータリー財団

ロータリー会員が、人びとの健康状態を改善し、質の高い教育を提供し、環境保護に取り組み、貧困をなくすことを通じて、世界理解、親善、平和を達成できるようにすることを使命とする。

【事業内容】 地区補助金、グローバル補助金による奨学金、職業研修チーム、人道的プロジェクト／ロータリー災害救援補助金／ポリオ・プラス／ロータリー平和フェローシップ

国際ロータリー日本事務局（財団室）

〒108-0073 東京都港区三田1-4-28 三田国際ビル24階

電話：03-5439-5805 FAX：03-5439-0405

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会

勉学または研究のために来日し、大学等教育機関に在籍する外国人留学生に対して奨学金を支給し、よってロータリーの理想とする国際理解と親善に寄与することを目的とする。

【事業内容】

奨学金の支給、その他この法人の目的を達成するために必要な事業

ロータリー米山記念奨学会

〒105-0011 東京都港区芝公園2-6-15 黒龍芝公園ビル3階

電話：03-3434-8681 FAX：03-3578-8281

よねやまの資料をご活用ください

動画で理解を深める

☑ よねやまに魅せられて

2022年7月、8分

国際ロータリー第2760地区(愛知県)の米山奨学生選考過程と、それに携わるロータリアンの想いをお届けします

☑ 平和に寄与する奨学事業

2021年11月、10分

副理事長・常務理事として長年当事業に携わった水野 功氏によるロータリー米山記念奨学事業の醍醐味とは…

当会のYouTubeチャンネルで新しい動画を随時公開!ぜひ登録をお願いします

YouTubeページ
はこちら→



冊子で事業の概要を知る

☑ 豆辞典

ロータリアン必携の当冊子

☑ リーフレット (日本語版/英語版)

簡単な事業紹介。一般の方々や新入会員に

☑ 米山校友の群像

活躍する校友を紹介するvol.1~5、校友会特集号もあります



ブース装飾やイベントなどに

☑ ロゴ旗 (大 H210cm × W140cm・小 H135cm × W90cm)

地区大会の壇上掲揚や例会場でご使用いただけます

貸出

☑ タスキ 貸出

学友や奨学生が集まるイベントに

☑ ポスター

新聞紙を広げた大きさのA1サイズ

☑ スタンド式バナー 有料 8,300円

高200cm幅80cm(設置時)、
巻き取り式でコンパクト収納



インターネットで米山の情報をキャッチ!

☑ ホームページ

最新の情報を掲載
しています

ハイライトよねやま

寄付金納入明細表

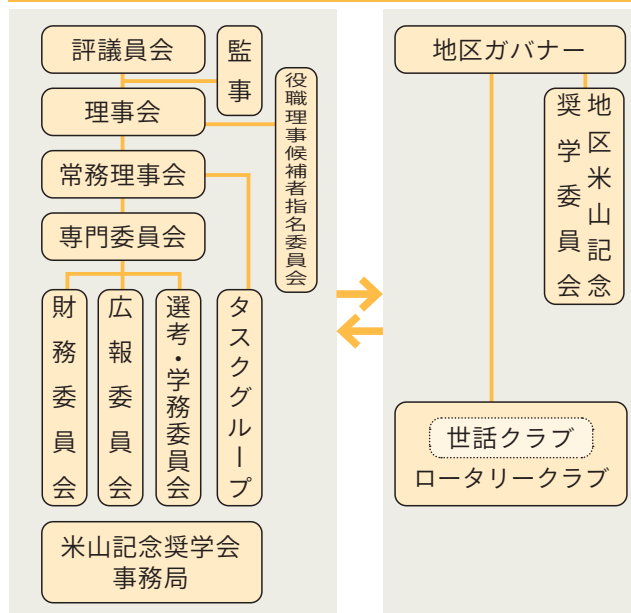
奨学金情報

☑ フェイスブック

米山のFacebookページに「いいね」をお願いします



事業の組織図



米山記念奨学会事務局職員

事務局 長	柚木 裕子	事業 Gr.リーダー	野津 美由紀
事務局 次長	峯 純子	選考・学務	栗原 めぐみ
財務・経理	加藤 いずみ	選考・学務	米山 恵莉
寄付増進	大庭 陽子	選考・学務	小栗 史奈
システム	森 尚子	学友	北村 聡子
		広報・企画	長尾 滉

米山記念奨学会事務局所在地

公益財団法人ロータリー米山記念奨学会 事務局

〒105-0011 東京都港区芝公園 2-6-15 黒龍芝公園ビル 3 階

電話：03-3434-8681 FAX：03-3578-8281

交通アクセス

- ・都営地下鉄三田線『芝公園駅』A3 出口より、徒歩 1 分
- ・都営地下鉄浅草線・大江戸線『大門駅』
A3 または A6 出口より、徒歩 6 分
- ・JR 山手線・京浜東北線『浜松町駅』
南口より、徒歩 8 分

Google地図は
こちら→

